

「…何やってるんだ、お前は」

「何って、ハロウィンだから」

トリックオアトリートしに来たんですよ

…で、返事が無かったのでイタズラしてます♪」

「そりゃ寝てたんだから返事できないわな…」

「ほんとにはクレアちゃんに  
トリックしたかったけど、  
あの子、私を置いて男の子と  
デートに行ったんですよ！  
私を置いて!!男の子と!!デートを!!」  
（つまり八つ当たりしに来たのか…）



ニクラ

たが

ちんちん

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

「まあまあ、こうしてコスプレ美少女と  
良い思い出来てるんだから、  
そう睨まないでくださいよ〜」

「自分で言うな…っ…おい、  
生でやってるじゃないか  
射精る前に早く抜け!」

「大丈夫ですよー安全日  
（じゃないけど、精気に変換して  
孕む前に消化するから平気）ですし♪」

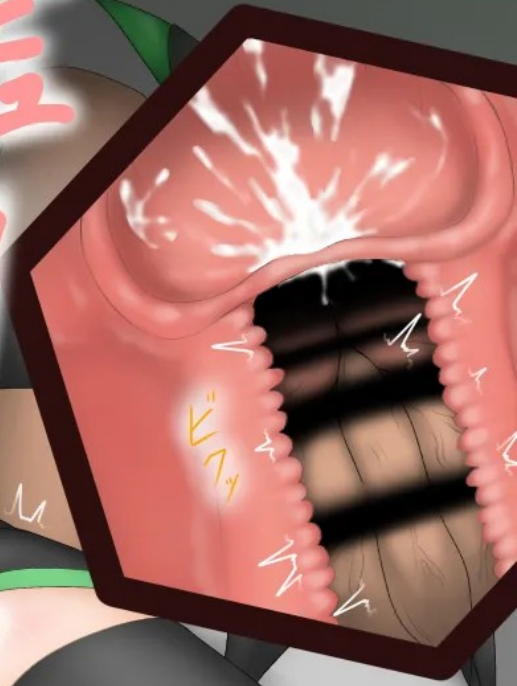
「そうやって過信するのが…っぐ、  
おい、もう射精るからいい加減…」



「…えい♪」

「ぐっ、ーッ」

ビュ  
ビュ  
ビュ



ッ

ビュ  
ビュ  
ッ

「…あーあ、避妊がーとか  
言っておきながら、こっちが  
抜く前にいきなり射精しちゃってーw」  
（…抜く素振りかどころか、むしろ  
腔内締めて射精を促しといて、こいつ…）



「うわー、何だかんだ言っ  
て、気持ち良さそうな顔で中出し  
やりきってるじゃないですかーw」

「.....」



「はいはい、この状況で  
睨んでも可愛いだけですよー  
さて、まだまだコレも元気そうだし、  
このまま最後までトリックしてあげますね♪」

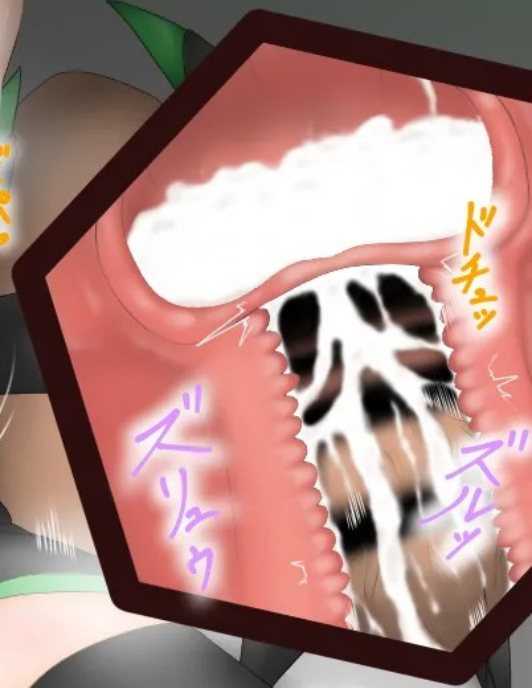
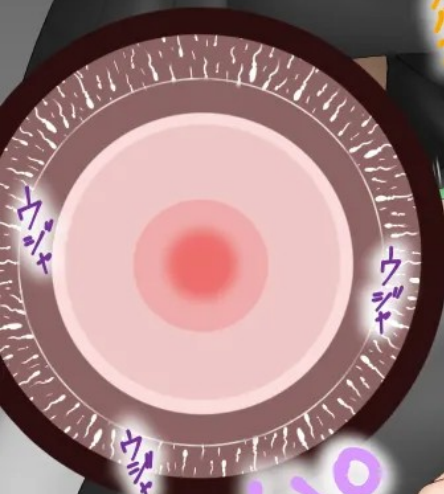


数時間後…

「…ちよ、ちよつと…  
いつになったら  
弾が尽きるんですか…?」

「ぐっ…そつちこそ、  
まだやる…つもり、か…?」

「…ッ、ここで引いたら、私が  
負けたみたいじゃないですか!!」



「何の勝ち負けだ…っ、  
おい、こっちもいい加減  
疲れてるん…だッ  
俺の負けでも何でもいから、  
この次で、終わりにするぞ…!!」

「!? ま…って、いきなり、  
そんな、ペース上げた…ら…ッ!」  
（ダ…メ、さつきから、イってて、  
精子の消化が、集中でき…な…♥）



ビクン

アッ

フッ

パンッ

バルッ

パンッ

バチ

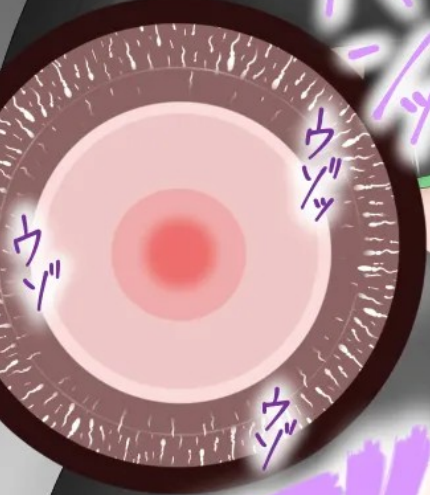
ズチ

ズリ

ズリ

又チ

グチ



ウゾ

ウゾ

ウゾ

ズ

ズ

ズ

「ツあああああ♡♡♡」

「うっくくうう…ツ」

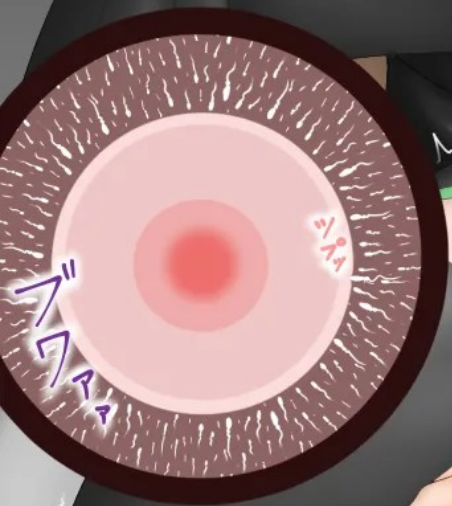
（あ、ああ…消化…

間に、合わ……ない…

うう、凄…い出て…る♡）

「や…ああ♡ダメえ♡  
またツ…イツく…うう♡♡♡」

「お、い…そんなに、  
絞られると…つぐう?!」



たがん

キム

ゴク

「おツ…おお…♡」

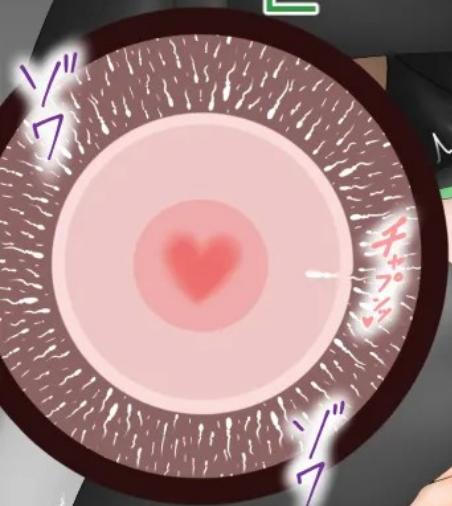
「くっ…も、もう限界だ」

「…?…お、おい、木村…?」

（あああ…受精、しちゃってる♡  
でも、今…ならまだ、消化できる…）

「…ふう…ふう、こ、今回は特別に、  
引き分けって事にします…♡」

「…もう何でもいいから、  
いい加減、寝かせてくれ…」



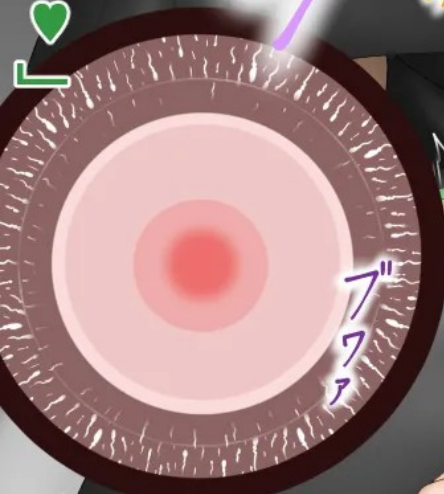


数十分後…

「ひゃっ、な…なんで、  
こんな…簡単に、イカされて…ッ♥」

「前回散々やったからな…  
嫌でもお前の弱い所を覚えたわ  
今回はそっちもさっさと  
終わらせたい様だし、こっちも  
最初から飛ばしてるんだが…っぐ」

「や、ダメっ♥こんな、ずっと、  
イってる、状態でえ…射精されたら…♥」



「っ…射精るッ!!」

「ッ、あああ、ま、また、

イツ…く、うううううう♡♡♡♡

（ああ…♡ダメなのに…♡  
種付けで、受精…しながら、  
イク…ッの、気持ち…良い♡♡♡♡）















ハア

ハアツ

だぶ

ズン

ズン

ドチニツ

ズン

ウツ

ウツ

アツ

アツ

ツ

ツ







ビクッ

フウ

ハッ

ビク

チク

ビク

ゴキッ

トク

アッ

ビク







ビュッ  
ビュッ  
ビュッ

ピクッ

ピクッ

ブルッ

ブルッ

モクッ

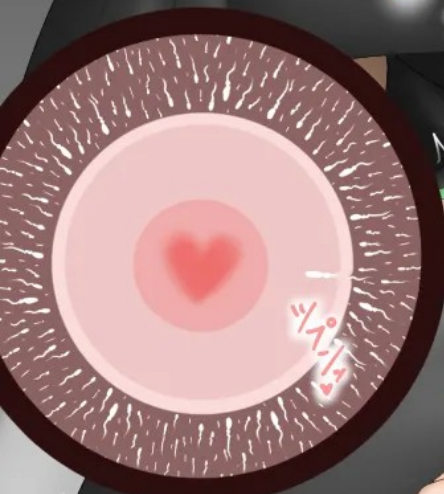
ビュッ

クッ

ピクッ

ピクッ

ピクッ





























「…何やってるんだ、お前は」

「何って、ハロウィンだから」

トリックオアトリートしに来たんですよ

…で、返事が無かったのでイタズラしてます♪」

「そりや寝てたんだから返事できないわな…」

「ほんとにはクレアちゃんに  
トリックしたかったけど、  
あの子、私を置いて男の子と  
デートに行ったんですよ！  
私を置いて!!男の子と!!デートを!!」  
（つまり八つ当たりしに来たのか…）



「まあまあ、こうしてコスプレ美少女と  
良い思い出来てるんだから、  
そう睨まないでくださいよ〜」

「自分で言うな…っ…おい、  
生でやってるじゃないか  
射精る前に早く抜け!」

「大丈夫ですよー安全日  
（じゃないけど、精気に変換して  
孕む前に消化するから平気）ですし♪」

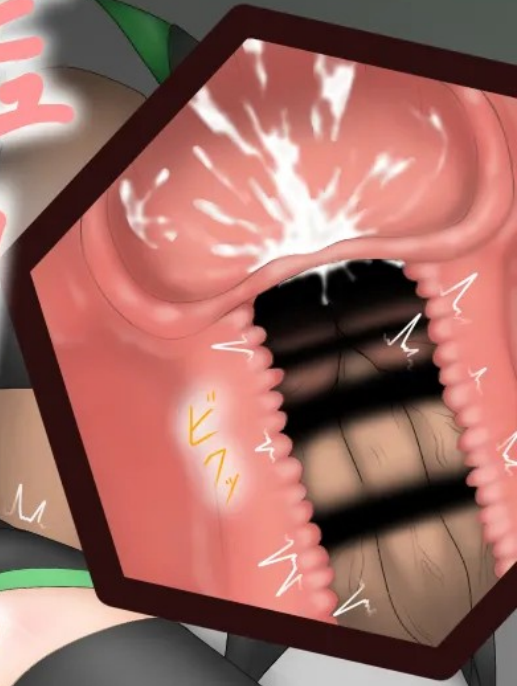
「そうやって過信するのが…っぐ、  
おい、もう射精るからいい加減…」



「…えい♪」

「ぐっ、ーッ」

ビュ  
ビュ  
ビュ



「…あーあ、避妊がーとか

言っておきながら、こっちが

抜く前にいきなり射精しちゃってーw」

（…抜く素振りかどころか、むしろ

腔内締めて射精を促しといて、こいつ…）



「うわー、何だかんだ言って、  
気持ち良さそうな顔で中出し  
やりきってるじゃないですかーw」

「.....」



「はいはい、この状況で  
睨んでも可愛いだけですよー  
さて、まだまだコレも元気そうだし、  
このまま最後までトリックしてあげますね♪」

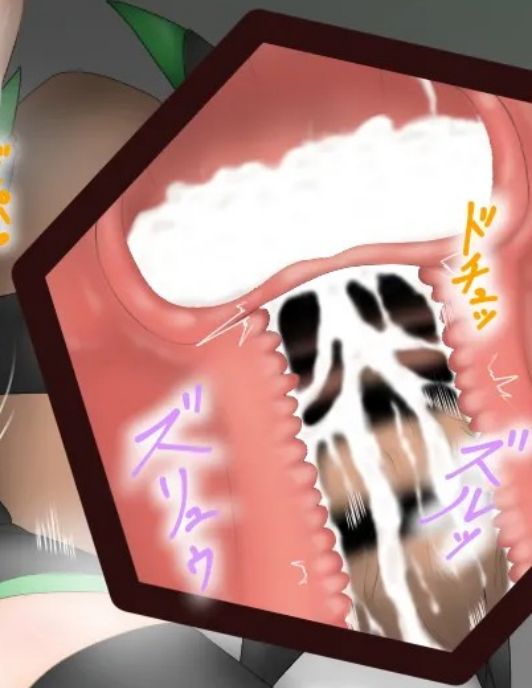
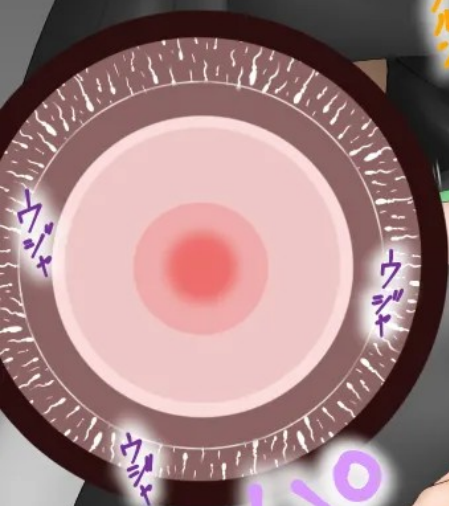


数時間後…

「…ちよ、ちよつと…  
いつになったら  
弾が尽きるんですか…?」

「ぐっ…そっちこそ、  
まだやる…つもり、か…?」

「…ッ、ここで引いたら、私が  
負けたみたいじゃないですか!!」



「何の勝ち負けだ…っ、  
おい、こっちもいい加減  
疲れてるん…だッ  
俺の負けでも何でもいから、  
この次で、終わりにするぞ…！」

「!? ま…って、いきなり、  
そんな、ペース上げた…ら…ッ！」  
（ダ…メ、さつきから、イってて、  
精子の消化が、集中でき…な…♡）



ビクッ

アッ

フッ

パンッ

バルッ

パンッ



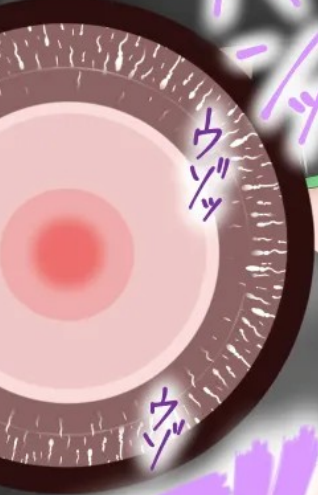
バチ

ズッ

ズッ

又チュッ

グッ



ウッ

ウッ

ズッ

ズッ

ズッ

「ツあああああ♡♡♡」

「うっくくうう…ツ」

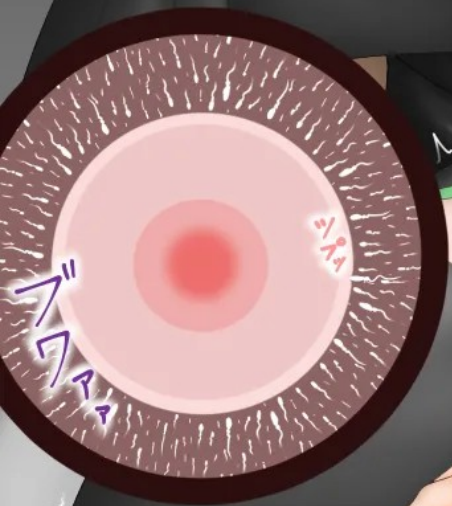
（あ、ああ…消化…

間に、合わ……ない…

うう、凄…い出て…る♡）

「や…ああ♡ダメえ♡  
またツ…イツく…うう♡♡♡」

「お、い…そんなに、  
絞られると…つぐう?!」



たがん

キム

ゴク



「おツ…おお…♡」

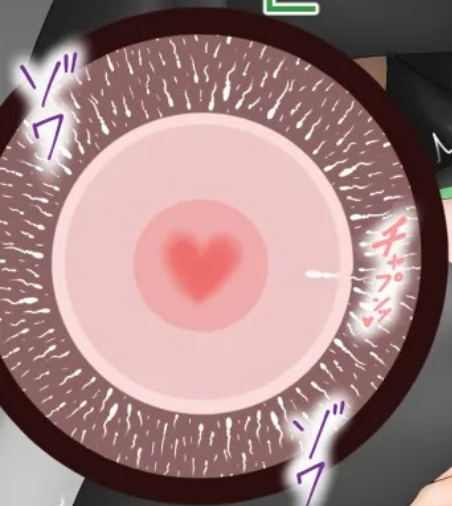
「くっ…も、もう限界だ」

「…?…お、おい、木村…?」

（あああ…受精、しちゃってる♡  
でも、今…ならまだ、消化できる…）

「…ふう…ふう、こ、今回は特別に、  
引き分けって事にしてあげます…ツ♡」

「…もう何でもいいから、  
いい加減、寝かせてくれ…」



数日後…

「…ハロウインは終わっただろ」

「リベンジ戦です!!  
今度こそ私の方が上だという事を  
あなたにわからせるんだから…!!」

（最初から全力で搾り取って、速攻で墜とす!

本気を出せば、ただの人間が悪魔の私に勝てる訳…)





「っ…射精るッ!!」

「ッ、あああ、ま、また、

イツ…く、うううううう♡♡♡♡♡

(ああ…♡ダメなのに…♡  
種付けで、受精…しながら、  
イク…ッの、気持ち…良い♡♡♡)



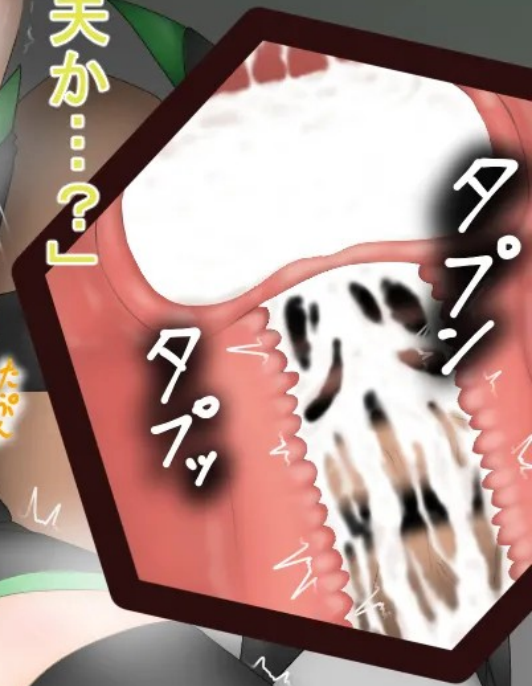
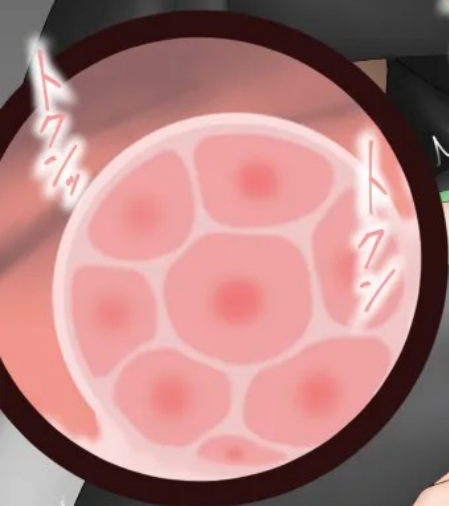
数時間後：

「……しまった、結局流されて  
またこんな時間まで……  
おい、木村……？お、おい大丈夫か……？」

「お、お……おツ♡♡♡」

「……あー、どうしたものか……はあ……」

受精後の、精気への変換と消化が  
間に合わず、木村は無事妊娠した











ニカッ

ニカッ...







クワッ

ツ

たぷん

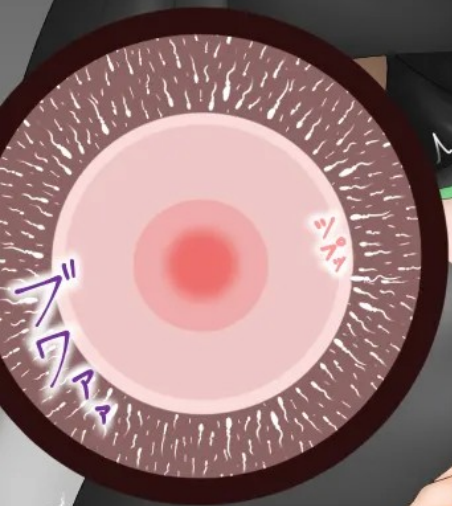
クワッ

ブ

ビュ

ク

キョウウウウ



ブワッ

クワッ

クワッ

クワッ



ツ

ビュッ





フウ

フウ

たろ

たろ

ズ  
ニ  
ク

ズ  
ク  
ク

ク  
ク

ク  
ク



ハア

ハア

ビクッ

パッパ

パルッ

ビクッ

キッ

ヌッ

ズッ

ビクッ

パッ

ズッ

キュッ

ズッ

パッ

ブワッ



ビュッ  
ビュッ  
ビュッ

ピクッ

ピクッ

ブルッ

ブルッ

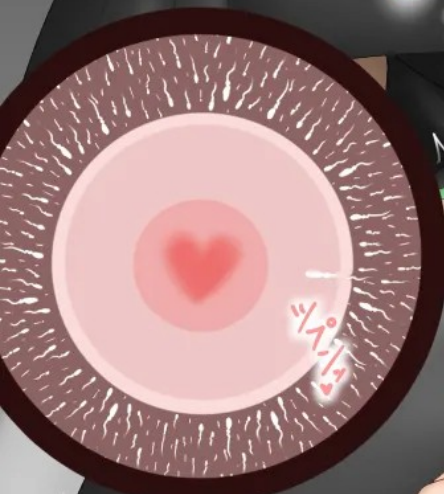
モクッ

ビュッ

クッ

ピクッ

ピクッ





ビクッ

オオッ

オッ

ビクッ

たふん

トクッ

トクッ

キュッ

キュッ

ゴボッ...

ビクッ

ビクッ



ダッ

ダッ

ダッ

ダッ























